

# 日常点検チェック・シート

## 自家用乗用車の日常点検チェック・シート

自家用乗用車の日常点検は、この点検項目についてチェックしてください。

点検項目		年 月 日		年 月 日	
		判定・○×		判定・○×	
1 エンジン・ルームを のぞいてここを点検	① ウインド・ウォッシャー液の量	○	×	○	×
	② ブレーキ液の量	○	×	○	×
	③ バッテリー液の量	○	×	○	×
	④ 冷却水の量	○	×	○	×
	⑤ エンジン・オイルの量	○	×	○	×
2 クルマのまわりを 回ってここを点検	⑥ タイヤの空気圧(含むスペア・タイヤ)	○	×	○	×
	⑦ タイヤの亀裂、損傷および異状な摩耗	亀裂、損傷 異状摩耗	○ ×	○ ×	○ ×
	⑧ タイヤの溝の深さ	○	×	○	×
	⑨ ランプ類の点灯、点滅およびレンズの汚れ、損傷	点灯(点滅) 汚れ、損傷	○ ×	○ ×	○ ×
	⑩ ブレーキ・ペダルの踏みしろおよびブレーキのきき	踏みしろ きき	○ ×	○ ×	○ ×
3 運転席に座ってここを点検	⑪ パーキング・ブレーキ・レバーの引きしろ	○	×	○	×
	⑫ ウインド・ウォッシャーの噴射状態	○	×	○	×
	⑬ ワイパの拭き取りの状態	○	×	○	×
	⑭ エンジンのかかり具合および異音	かかり具合 異音	○ ×	○ ×	○ ×
	⑮ エンジンの低速および加速の状態	低速 加速	○ ×	○ ×	○ ×
4 その他		○	×	○	×
		○	×	○	×
		○	×	○	×

知識 RV車 レクリエーション車・ピークルの略。単なる移動手段としての目的だけでなく、遊びの要素を加味してつくられたクルマをいう。



チェック・シートを使って  
実際に自分のクルマを点検しましょう。

## 自家用貨物自動車等の日常点検チェック・シート

自家用貨物自動車(ライトバン、トラックなど)は1日1回、運行前に日常点検を実施することになっております。ライトバン、トラック、バスなどは乗用車と比べて走行距離も多いことから、クルマの健康状態をしっかりとチェックし、事故を未然に防止するためにも日常点検を行いましょう。

自家用貨物自動車等の日常点検は、この点検項目についてチェックしてください。

点検箇所	点検内容	年 月 日	判定・○×
1 ブレーキ	① ブレーキ・ペダルの踏みしろが適当で、ブレーキのききが十分であること。 〔・ブレーキ・チャンパのロッドのストロークが適当であること〕 〔・ブレーキ・ドラムとライニングとのすき間が適当であること〕	○	×
	② ブレーキ液の量が適当であること。	○	×
	③ 空気圧力の上がり具合が不良でないこと。	○	×
	④ ブレーキ・ペダルを踏み込んで放した場合にブレーキ・バルブからの排気音が正常であること。	○	×
	⑤ 駐車ブレーキ・レバーの引きしろが適当であること。	○	×
2 タイヤ	① タイヤの空気圧が適当であること。(含むスペア・タイヤ)	○	×
	② 亀裂および損傷がないこと。	○	×
	③ 異状な摩耗がないこと。	○	×
	④ 溝の深さが十分であること。	○	×
3 バッテリー	① 液量が適当であること。	○	×
4 原動機	① 冷却水の量が適当であること。	○	×
	② ファン・ベルトの張り具合が適当であり、かつ、ファン・ベルトに損傷がないこと。	○	×
	③ エンジン・オイルの量が適当であること。	○	×
	④ 原動機のかかり具合が不良でなく、かつ、異音がないこと。	○	×
	⑤ 低速および加速の状態が適当であること。	○	×
5 灯火装置および方向指示器	① 点灯または点滅具合が不良でなく、かつ、汚れおよび損傷がないこと。	○	×
6 ウインド・ウォッシャーおよびワイパ	① ウインド・ウォッシャーの液量が適当であり、かつ、噴射状態が不良でないこと。	○	×
	② ワイパの払拭状態が不良でないこと。	○	×
7 エア・タンク	① エア・タンクに凝水がないこと。	○	×
8 運行において異常が認められた箇所	当該箇所に異常がないこと。	○	×

知識 横G クルマが旋回する時に、遠心力によって外側に引っ張られる力。旋回時の半径が小さく、スピードがあるほど横Gが大きくなる。

(注) 印の点検は、当該自動車の走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に行うことで足りる。  
印の点検は、エア・ブレーキを用いた自動車についての点検を示す。